

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-62384 (P2004-62384A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-008
 【出願番号】特願 2002-217968 (P2002-217968)
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 6 F 17/28
 【F I】
 G 0 6 F 17/28 T

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 25 日 (2005.7.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

所定の文章に係る原文および訳文を例文として記憶し、翻訳対象である原文に含まれる所定の単語とともに、前記例文として記憶された訳文の内容を前記単語の対訳候補として表示する方法をコンピュータに実行させる対訳候補表示プログラムであって、

前記例文としての原文に含まれる各単語ごとに、前記例文としての訳文に含まれる当該単語の対訳を対応付けて記憶する対訳例文記憶工程と、

前記対訳例文記憶工程によって対応付けて記憶された各単語の対訳のうち、前記翻訳対象である原文に含まれる所定の単語に対応する対訳を集計して前記対訳候補を抽出する対訳集計工程と、

前記対訳集計工程によって集計されて抽出された前記対訳候補を、前記所定の単語とともに表示するように制御する表示制御工程と、

をコンピュータに実行させることを特徴とする対訳候補表示プログラム。

【請求項 2】

前記対訳集計工程は、
 前記対訳例文記憶工程によって対応付けて記憶された各単語の対訳を参照して、前記所定の単語に対応する対訳の一覧を作成する対訳一覧作成工程と、

前記対訳一覧作成工程によって作成された対訳の一覧のなかから、他の対訳と重複しない対訳は、当該対訳をそのまま前記対訳候補として抽出する一方、他の対訳と重複する対訳は、当該重複する各対訳を一つにまとめて前記対訳候補として抽出する対訳候補抽出工程と、を備え、

前記表示制御工程は、前記対訳候補抽出工程によって抽出された各対訳候補を、前記所定の単語とともに表示するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の対訳候補表示プログラム。

【請求項 3】

前記対訳集計工程は、前記対訳候補抽出工程によって抽出された各対訳候補ごとに、前記対訳一覧作成工程によって作成された対訳の一覧を参照して、当該対訳候補に該当する対訳の個数を算出する対訳個数算出工程をさらに備え、

前記表示制御工程は、前記対訳候補の表示に際し、前記対訳個数算出工程によって算出された対訳の個数についても、前記対訳候補ごとに表示するように制御することを特徴と

する請求項 2 に記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 4】

前記対訳集計 工程は、前記対訳候補抽出 工程によって抽出された対訳候補の個数を算出する対訳候補数算出 工程をさらに備え、

前記表示制御 工程は、前記所定の単語の表示に際し、前記対訳候補数算出 工程によって算出された対訳候補の個数に応じて、表示態様を区別して表示するように制御することを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 5】

前記表示制御 工程は、前記対訳候補の表示に際し、前記対訳例文記憶 工程によって記憶された前記原文および訳文のなかから、前記対訳候補となった対訳が含まれる訳文および / または当該訳文に対応する原文についても、前記対訳候補ごとに表示するように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 6】

前記対訳例文記憶 工程は、前記所定の文章ごとに、当該文章が属する分野、当該文章の訳文を作成した作業員および / または前記訳文が作成された年月日を関連付けて記憶するものであって、

前記表示制御 工程は、前記対訳候補の表示に際し、前記対訳候補となった対訳が含まれる訳文に関して、前記対訳例文記憶 工程によって関連付けて記憶された前記分野、作業員および / または年月日についても、前記対訳候補ごとに表示するように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 7】

前記対訳例文記憶 工程は、前記所定の文章ごとに、当該文章が属する分野、当該文章の訳文を作成した作業員および / または前記訳文が作成された年月日を関連付けて記憶するものであって、

前記対訳例文記憶 工程によって関連付けて記憶された前記分野、作業員および / または年月日を、利用者から検索条件として受け付ける検索条件受付 工程をさらに備え、

前記対訳集計 工程は、前記対訳例文記憶 工程によって対応付けて記憶された各単語の対訳のうち、前記受付 工程によって受け付けられた検索条件を具備する対訳に基づいて、前記所定の単語に対応する対訳を集計して前記対訳候補を抽出することを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 8】

前記翻訳対象である原文から当該原文に含まれる複数の単語を解析する原文解析 工程をさらに備え、

前記対訳集計 工程は、前記原文解析 工程によって解析された各単語ごとに、各単語に対応する対訳を集計して前記対訳候補を抽出し、

前記表示制御 工程は、前記原文解析 工程によって解析された各単語ごとに、前記対訳集計 工程によって集計されて抽出された対訳候補を表示するように制御することを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 9】

前記表示制御 工程によって表示された対訳候補のなかから、前記所定の単語の対訳として採用すべき対訳候補を、利用者による選択によって受け付ける対訳受付 工程をさらに備え、

前記対訳例文記憶 工程は、前記所定の単語と、前記対訳受付 工程によって受け付けた対訳候補とを対応付け、前記例文として新たに記憶することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか一つに記載の対訳候補表示 プログラム。

【請求項 10】

所定の文章に係る原文および訳文を例文として記憶し、翻訳対象である原文に含まれる所定の単語とともに、前記例文として記憶された訳文の内容を前記単語の対訳候補として表示する対訳候補表示 装置であって、

前記例文としての原文に含まれる各単語ごとに、前記例文としての訳文に含まれる当該

単語の対訳を対応付けて記憶する対訳例文記憶手段と、

前記対訳例文記憶手段によって対応付けて記憶された各単語の対訳のうち、前記翻訳対象である原文に含まれる所定の単語に対応する対訳を集計して前記対訳候補を抽出する対訳集計手段と、

前記対訳集計手段によって集計されて抽出された前記対訳候補を、前記所定の単語とともに表示するように制御する表示制御手段と、

を備えたことを特徴とする対訳候補表示装置。